

ごあいさつ

皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、南摩城カントリークラブは昭和50年に開場して以来、おかげさまをもちまして、40年以上にわたる歴史を歩んでまいりました。その40周年の記念式典におきましては、日本ゴルフ事業協会元理事長安倍晋三自由民主党総裁、超党派ゴルフ議員連盟会長麻生太郎副総裁、同名譽会長衛藤征士郎衆議院議員をはじめとする多数の方々より御祝辞並びに祝花をいただき開場40周年記念コンペを多くの皆様方と祝うことができましたことは大変光栄であると思っております。

過去におきましては、コースの戦略性が高く評価され、当クラブにおきまして4年連続でPGAフィナンスロビートーナメントを開催させて頂き、日本プロゴルフ協会協力コースの認定を受け現在に至っております。

現在は少子高齢化の影響もあり、日本のゴルファーの中核を成しているのがシニアゴルファーの方々であります。ゴルフというスポーツは唯一と言ってよいほど年齢、性別にかかわらず家族、友人、仕事関係全ての方々と共に楽しめるスポーツであります。このような事を踏まえまして私どももシニア、レディスゴルファーにも優しいゴルフ場造りとともにいろいろな世代が集い、楽しみ、プレーができるクラブ造りを目指していきたくと思っておりますし、幸いオリンピックにおきましても、ゴルフが112年ぶりに正式競技として採用され、ゴルフへの注目度が若い方も含め高まってきております。

皆様方におかれましては、是非お誘い合わせの上、ご来場いただけますようお願い申し上げます。

そして御来場の際には、ぜひ南摩城の四季を楽しんで頂きたいと思っております。

春には、ハウス周りの満開の桜、花見をしながらのティショットが楽しめる西1番スタートホール。つづい、水連、三色すみれと色も艶やかに微笑んでくれます。

夏には、天が抜けるような青い空、白い雲、若葉の色も鮮やかな初夏の色合い。

秋には、紅葉が広がる山々の重なり。

冬には、雪化粧をした男体山を始め日光連山、遠くには白根の山々も望めます。サザンカ、椿の木々も色鮮やかです。

特に四季を通じてクラブハウスで食事をしながら眺める西の山々に落ちてゆく真っ赤な夕日はとても幻想的で都会では味わえぬ大自然の雄大さを感じさせてくれます。

又、一步コースを離れて、鹿沼の街を歩いてみますとイチゴ栽培のビニールハウスがあちこちに見受けられ、日本一を誇るニラの畑が広がります。宇都宮の餃子が有名なのも領けます。

鹿沼産の蕎麦も大変おいしく頂けます。

当レストランでは地元産の食材を中心にお食事を提供しておりますのでぜひお楽しみください。社員一同心よりご来場お待ちしております。

南摩城カントリークラブ

理事長 岡地 晃嗣